

Agri Note 菜園

アグリノート菜園情報



JA福井県

春に定植した野菜は大きく生長し、いよいよ収穫に入る野菜もあるかと思えます。6月は夏野菜の生育が最も旺盛な時期となりますので、年間で最も忙しい時期です。病害虫対策や整枝など、早め早めの対応を行いましょう。また、これから梅雨時期を迎えます。この時期は病気が出やすい時期ですので予防に重点をおくとともに、十分に排水対策を行ってください。収穫まであと少し頑張りましょう。

1. トマトの管理について

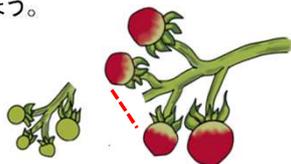
① 芽かき・誘引

栄養分が取られないように、わき芽は小さいうちに取りましょう。大きくなってから取ると、株に負担がかかり弱ってしまいます。傷口がすぐ乾くように、晴れた日の午前中に取り取ってください。



② 摘果

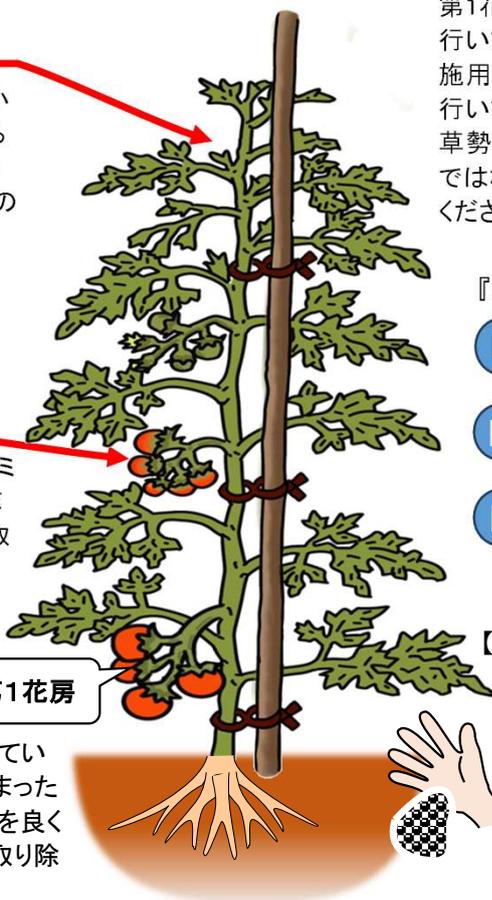
着果数は大玉トマトでは1段に3~4個、ミニ・ミニトマトでは1段に10個までとしましょう。着きすぎた場合は小さいうちに取ります。



③ 摘葉

葉が混み合っている部分や病気になっている葉は摘葉しましょう。また、収穫が始まったら、収穫した段の下から摘葉し、風通しを良くすることで病気を防ぐことができます。取り除いた葉は栽培圃場の外に出しましょう。

第1花房



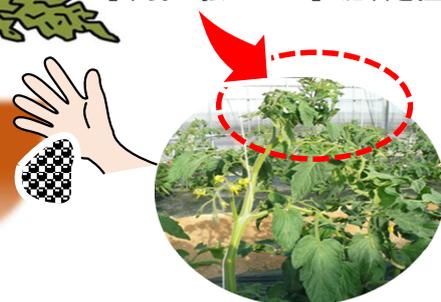
④ 追肥

第1花房の果実が肥大し始めたら追肥を行いましょう。その後は、草勢を見ながら施用時期や施用量を調節しながら追肥を行いましょう。茎が太く葉が巻いていたら草勢が強い可能性があります。株元近くではなく、根が張っている場所に追肥してください。

『肥料の三要素』の効果

- N** チッ素: 茎や葉、根の生育を促し株を大きくする。
- P** リン酸: 開花・結実を促す。株全体の生育を促す。
- K** カリ: 根の生育を促す。病気などに対する抵抗力を高める。

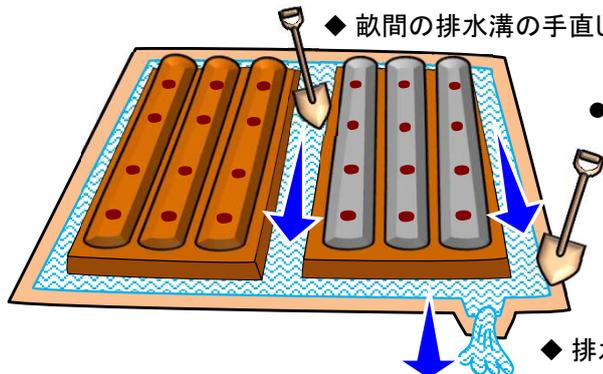
【草勢が強いトマト】肥料を控える



2. 梅雨時期の対策について

梅雨時期の降雨で野菜が水に浸かっていると根が呼吸できなくなり、酸素不足の状態になります。この状態が続くと、根腐れを起こして生育不良となります。雨が降った後、圃場の状態を確認しましょう。排水溝から水が抜けていれば、しっかり排水されている状態です。晴れた後も畝間に水が溜まっている場合は排水対策を行いましょう。

◆ 畝間の排水溝の手直しを！



- ハウスの中の場合は中に浸水していないか確認しましょう。ハウスサイドに溝を掘って、排水してください。

◆ 排水溝を畑の外につなぐ！

【排水口が雑草や土で埋まってい】

